

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

September, 2020
Vol.374

9



紅葉といっしょに 芸術の秋を満喫しよう

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、掲載内容に変更がある場合があります。
また、ご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力ををお願いします。
なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

開園から64年目を迎えた今年、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、「みどりのリズム」の休刊や美術館やホールの休館、各種イベントの中止など、みなさまにはご不便をおかけしてきました。

花と緑にあふれた石橋文化センターの園内には、それぞれ個性ある施設がありますが、一番の魅力は四季折々の花が彩る庭園です。

感染症の広がりで外出を控えることが多くなっていますが、ご来園いただきお客様のご協力もあり、花と緑に囲まれた広大な庭園では、ソーシャルディスタンスを保ちながらゆっくりと自分時間を楽しむことができます。

美術や音楽とともに変化に富んだ園内を散策して、お気に入りの場所を探してみませんか。

石橋文化センターは、さまざまな魅力で、皆さまをお迎えしています。



紅葉といっしょに 芸術の秋を満喫しよう

夏が終わると、いよいよ芸術の秋。

バラが華やかに彩り、ケヤキやイチョウ、カエデが色づき、秋を感じることができます。

園内には、さまざまなテーマのアート作品を展示し、夜には、紅葉と作品をライトアップ。

美術館の展覧会と幻想的な芸術空間が楽しめる園内で、芸術の秋を満喫してください。

■ 秋の石橋文化センターを楽しもう

秋のバラは魅力がいっぱい

10月中旬から11月下旬には、シンボル的な花「バラ」が、園内を華やかに彩ります。秋のバラは、深く美しい色が特徴で、強い香りも楽しめ、一輪一輪の花はより見応え充分。

美術館前バラ園には、皇室にちなんだバラとして、「プリンセス・ミチコ」が咲き誇ります。これに加えて、「エンプレス・ミチコ」「プリンセス・アイコ」が新登場、こちらも注目です。香りのバラ園では小道を巡りながら香りや色や形の違いを、著名人のバラ園ではその人物のイメージと重ね合わせながら鑑賞するのがイチオシです。



自然とともに芸術の秋を満喫

11月上旬から下旬には、美術館はもちろんですが、園内でも芸術の秋を堪能できます。豊かな自然に囲まれた園内にアート作品が登場し、紅葉に彩られた園内がアート空間に変身。

ぜひ、個性あふれる作品たちに触れて、気軽に芸術を感じてください。

夜には、作品や紅葉と一緒にみどりのリズムやベリカン噴水をライトアップします。幻想的な光に包まれた園内を楽しめるのも秋の魅力のひとつです。

いろいろな魅力がつまった庭園で芸術の秋をお楽しみに。



秋の情緒を感じながらのんびり歩こう

11月中旬から12月上旬には紅葉を楽しむことができます。

美術館の周りでは、大きなケヤキやイチョウがカラフルに色づきます。紅葉とバラを同時に鑑賞できるのは、秋ならでは。

美術館奥の日本庭園では、カエデが紅葉し、日本らしい風情のある秋を感じることができます。日本庭園を一望できる楽水亭カフェで、ゆっくりとお食事をしながら紅葉を楽しむこともオススメです。

日本庭園からさらに奥に進んで行くと、真っ赤に染まったモミジがお出迎え。

自然の中で、ちょっとした散策から紅葉狩りまで満喫できる、まちなかの穴場スポットです。



本館2階

没後35年 鴨居玲展 静止した刻

9月12日(土)——12月6日(日)

鴨居玲(1928-1985)は石川県金沢市に生まれ、金沢美術工芸専門学校(現 金沢美術工芸大学)で宮本三郎に学びました。1969年の安井賞受賞で一躍脚光を浴びると制作の拠点をフランスやスペインに移し、老人や酔っ払いに自身の姿を重ねる独自のスタイルを確立。1977年に帰国し、神戸にアトリエを構えてからは、裸婦像の制作に本格的に取り組むなど新たな展開を見せますが、突如57歳で自らの人生に幕を下ろしました。

人間の弱さや醜さに目を背けず、ひたすら人間の内面を描き続けた鴨居玲。確かなデッサン力で描かれた老人や酔っ払い、宙に浮かぶ教会やおびただしい数の自画像といった作品の数々は、美醜を超えて人間の極限的なものを私たちに突きつけます。没後35年の節目に開催する本展では、出世作となった安井賞受賞作《静止した刻》や《1982年 私》などの代表作を含む約100点の作品と資料によって「人間とは何か?」を問い合わせた画家、鴨居玲の全貌を紹介します。

入館料 一般1000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円)

高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

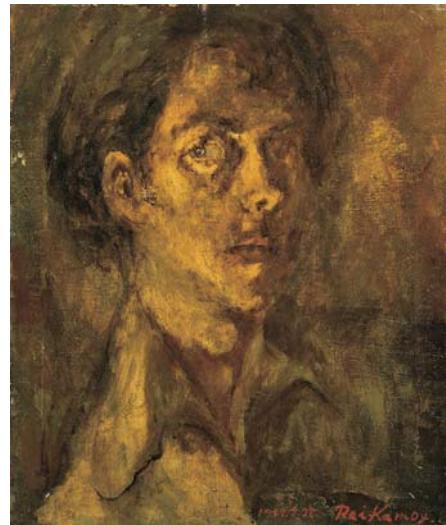
※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売

(Pコード685-258、Lコード86699)

※11月3日(火・祝)文化の日と11月19日(木)の開館記念日は入館無料



《夜(自画像)》1947年 笠間日動美術館



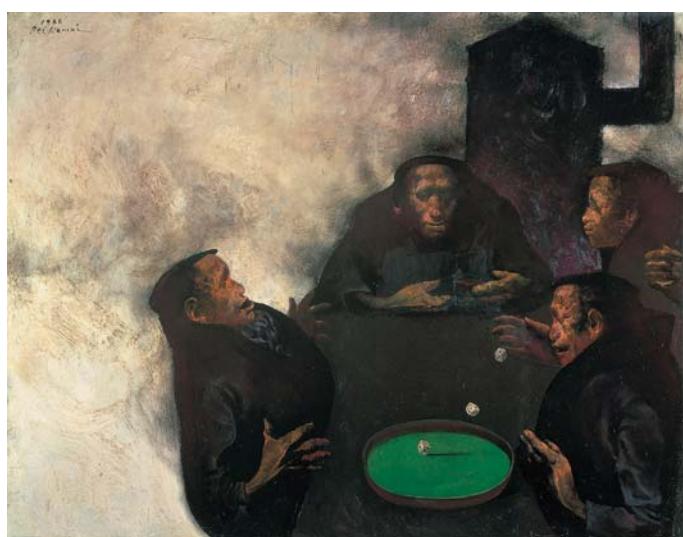
《群がる》1966年 石川県立美術館

作品紹介

テーブルを囲んでサイコロ遊びに興じる男たち。彼らの大げさな身振りや不自然なほどに強調された手の形、そして画面左に広がる不気味な空間など、ドラマティックな演出が目をひきます。

宙を舞ったサイコロの目が今まさに出ようとする最も緊張感に満ちた瞬間を描いた本作。「静止した刻」というタイトルのとおり、まるで時が止まってしまったかのように描く手法は、やがて鴨居玲独自のスタイルとして定着していました。

《静止した刻》1968年 東京国立近代美術館



画家の素顔1 ——— 青木 繁

久留米市美術館で所蔵する作品の作者について、ご紹介するコーナーの第1回目。画家の素顔をエピソードもまじえながらご紹介していければと思います。

青木繁は、明治15(1882)年7月13日、久留米に生まれ、明治44(1911)年3月25日、福岡市の病院で亡くなりました。その生涯はわずか28年と8ヶ月、まさに明治を駆け抜けた感があります。

その短い生涯に、青木はさまざまな伝説を残しています。そのひとつが空を仰ぐような頭の角度です。青木と同じ年に久留米に生まれ、ライバルとも親友とも言われる坂本繁二郎は、「常に空ばかりながめて歩いた、その仰向いた頭の角度の非常なことは頗る有名で、後ろから声をかけた方が早いとまで言はれて居た」と回想しています。東京美術学校で青木とともに周囲から天才と一目置かれていた熊谷守一も同様のことを言っています。「お早う」と声をかけても青木は頭をあげたままだったと。残された写真を見ると納得がいきます。見下すような傲慢な態度をとられても、友人たちは彼は天才だからと許していたふしがあります。



青木繁



東京美術学校卒業の頃
(後列左から2番目が青木繁 前列左が熊谷守一)

久留米市美術館ホームページ内のフェイスブックでは、コレクションを音楽とともに楽しむ映像を公開しています。ぜひご覧ください。

石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽力した石橋正二郎の歩みやひととなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介しています。

同館展示室の奥に設置されたガラスケース内には、石橋正二郎ゆかりの作品が展示されています。ここは年に数回展示替えをしており、9/6(日)までは「正二郎と藤島武二」のテーマで正二郎が藤島の作品だけでなく、その人柄にも魅了されていたことを紹介。9/12(土)からは「正二郎と青木繁」のテーマで正二郎の美術品収集の第一歩となった青木繁の作品について紹介いたします。



青木繁《天平時代》1904年
石橋財団アーティゾン美術館

入館料 一般・シニア・大学生 300円 高校生以下無料

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。

※11月3日(火・祝)文化の日と11月19日(木)の開館記念日は入館無料



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町1015番地
TEL: 0942-39-1131 FAX: 0942-39-3134
URL: <https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(9/21、11/23は開館)

カフェ&ギャラリーショップ 楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館本館東側

■ 美術館展覧会

「没後35年 鴨居玲展」開催記念フェア

9月12日(土)～12月6日(日)

ギャラリーショップでは、鴨居玲の出身地である石川県のお菓子や、鴨居玲がアトリエを構えて4年間滞在したスペインの食器を販売します。

その他、カフェでも期間限定のフェアメニューを提供します。展覧会と共にお楽しみください。

スペイン産食器

※写真はイメージ



ガーリック保存ボット



マグカップ



エッグスタンド

■ マスク

ギャラリーショップで、布マスクを販売しています。久留米絣の生地で作ったマスク(税込880円)や、西村大臣が使正在して話題の大蔵大臣マスク(税込450円～)などです。大臣マスクは、口とマスクの間に空間ができ、直接唇がマスクに触れないで、話しやすく人気です。



■ かき氷

カフェでは期間限定の5種類のかき氷をご用意しています。種類は、いちご、抹茶、黒蜜きなこ、マンゴー、ブルーハワイです。(いずれも税込500円)暑い日が続く9月にも冷たいかき氷をどうぞ!



園内の花情報(9月)

■ スイフヨウ

朝から夕方にかけて1日で花色が変化する面白い花です。午前中に純白で開き、午後には徐々に淡いピンクに、そして夕方頃には赤く染まり、最後は萎んで落ちてしまいます。

漢字は「醉芙蓉」と書きます。花色の変化を、お酒を飲んで酔っぱらって顔色が段々赤みを帯びていくことに例えて名付けられたそうです。

園内では、睡蓮とバラの庭周辺で花を咲かせます。



10時ごろ



12時ごろ



15時ごろ

お知らせ

ちょっと気軽に斯坦ウェイ&KAWAI EX

ステージ上に設置したフルコンサートモデルのピアノを、貸切で練習利用することができます。ぜひ気軽にご利用ください!

ちょっと気軽に斯坦ウェイ

9月6日(日)・12日(土)・19日(土)・24日(木)

石橋文化ホール 料金 ¥3,000(1時間)

ちょっと気軽にKAWAI EX

9月5日(土)・13日(日)・27日(日)

文化センター共同ホール 料金 ¥2,000(1時間)

※利用時間は、いずれも10:00～21:00で要事前申込。(1時間単位・1日最大2時間まで)

申込み・問合せ先 石橋文化センター TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837



斯坦ウェイ「D-274」



KAWAI「EX」

新しい外観になりました～石橋文化会館～

昨年から今年3月にかけ、石橋文化会館の外壁改修工事を行いました。この改修における費用の一部について、石橋財団からの寄付をいただいております。石橋文化センターの施設に多く用いられているレンガ調に生まれ変わり、庭園の花々を引き立たせる落ち着いた雰囲気で、皆様のご来園をお待ちしております。



新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

ホールイベント情報 HALL EVENT INFORMATION

石橋文化ホール

15(火) 19:00~	THE BEST LIVE 祭響 -Saikyo-	指定席 一般SS席7,500円 S席6,500円 車椅子席7,500円
16(水) 13:00~	問 株式会社タオ・エンターテイメント tel.092-721-2015	
22(火・祝) 14:00	吹奏楽団ゆうすい第9回定期演奏会 今年のテーマは「演奏させてもらえませんか」 問 吹奏楽団ゆうすい tel.080-5258-2295(古賀) この演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って行う為、 指定席となります。	全席指定 無料

10/24(土) ①13:00 ②15:30	おかげさんといっしょ宅配便 「ガラビコぶ～小劇場」 問 NHK福岡放送局 tel.092-724-2266(平日10:00~18:00) NHK福岡HPよりお申し込みください。	無料 要事前申込 [締切9月18日(金) 午後11:59]
------------------------------	--	--

※上記内容は8月25日現在のものです。また、上記内容については主催者が会場の申し込みをされる際に申し出られたものですので、主催者の都合により変更になる場合があります。

問 お問合せ

チケット情報 TICKET INFORMATION

久留米市美術館

12(土)～ 12/6(日) 10:00 - 17:00	没後35年 鴨居玲展 静止した刻 問 久留米市美術館 tel.0942-39-1131	前売り600円 ※販売期間 ～9/11(金)まで
おりなす八女	千住真理子ヴァイオリン・リサイタル 問 おりなす八女 tel.0943-22-5332	全席指定 一般3,500円 高校生以下1,000円

石橋文化センター友の会会員特典。割引マークの付いたチケットを
10%割引で1人2枚まで購入可(電話予約可)。
ただし、石橋文化センター窓口、情報サテライトのみ販売。

みゆ～ず 割引

ひまわりホール

2021年 3/14(日) 15:00	フルター・アウター フルートリサイタル 問 ひまわりホール tel.0944-56-2747	フルター・アウター 割引 全席自由 一般4,500円 中学生以下3,000円
---------------------------	--	---

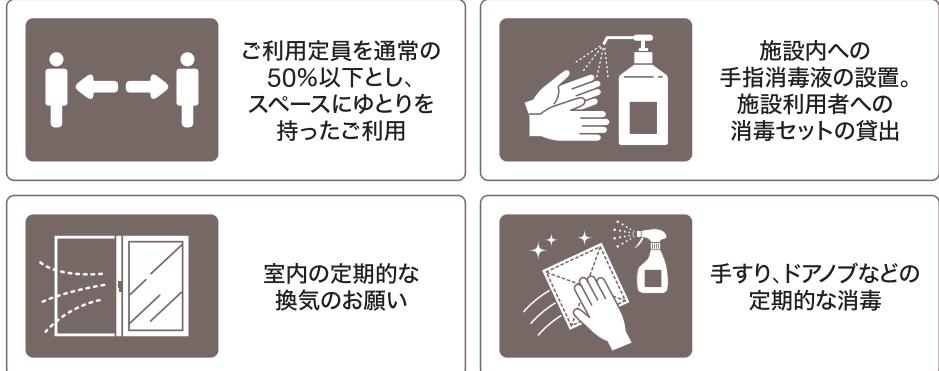
※上記内容は8月25日現在のものです。上記内容については、販売状況により、お取扱いできない場合がございますので、何卒了承ください。

★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(10時～18時、臨時休館あり)

問 お問合せ

石橋文化センター内 施設のご利用について(ホール・会議室・研修室)

コンサートホールから会議室まで、目的に合わせ様々な施設をご利用いただくことができます。また、感染症の拡大防止に努め、安全・安心にご利用いただくため、下記の取り組みを行っています。



久留米市立中央図書館 KURUME CITY CENTRAL LIBRARY



～デジタルで聴く明治・大正・昭和の音～ 国立国会図書館 歴史的音源(れきおん)配信サービス開始

令和2年8月1日より、国立国会図書館が配信している、1900年初頭から1950年頃のSP盤等のデジタル化音源を、図書館内の指定の端末で聴くことができます。

音楽はもちろん、落語や淨瑠璃、浪花節、講演等、様々なものがあり、全音源数は約5万音源です。なお、複製やダウンロードはできません。

ご利用される場合は、2階・調査研究室にて職員にお声がけください。



久留米市立中央図書館
KURUME CITY CENTRAL LIBRARY
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町970番地1
TEL: 0942-38-7116 FAX: 0942-38-7183
URL: <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2060library/index.html>

開館時間 (火～金) 10:00～20:00
(土・日・祝) 10:00～18:00
休館日 月曜(祝日は開館)、毎月第4木曜

新たにオフィシャルパートナーとして協賛いただくことになりました

公益財団法人久留米文化振興会では、2016年11月、久留米市美術館の開館を契機として、美術館を含む石橋文化センター全体の活動を応援していくため協賛制度を始めました。

石橋文化センターを建設寄贈いただいた石橋正二郎氏が創業した株式会社ブリヂストン様にスペシャルパートナーとして、また、久留米大学様、筑邦銀行様、株式会社森光商店様はオフィシャルパートナーとして当初からご支援いただいている。

この度、2020年4月から新たに3社様にオフィシャルパートナーとしてご支援いただくことになりました。

当財団では、皆様からのご支援を石橋文化センターの事業充実と四季折々の魅力あふれる庭園づくりに活用してまいります。

喜多村石油株式会社

弊社は1911年創業以来、お客様の大切なお車の給油からカーメンテナンス全般、また工場へのエネルギーの供給等幅広く事業展開しています。

当社の経営理念は「土魂商才」。

誠実さをいつも心に、真っ直ぐに仕事をしていく事を常に考えています。

これからも「笑顔あふれる元気な地域密着企業」として、社員一人ひとりがお客様に感動していただけるよう、「笑顔」と「元気」いっぱいのおもてなしで活動してまいります。

応援メッセージ

「世の人々の楽しみと幸福の為に」石橋正二郎氏の想いを引き継ぎ、人々が気軽に立ち寄れ、豊かな気持ちになれる空間であり続けるよう応援してまいります。

株式会社ユー・エス・イー

USEは、今年2020年に創業50年を迎えるIT企業として、お客様のビジネスや地域活性化等の社会の仕組みづくりに貢献すべく事業展開しております。

強みである「高度なITソリューション力」と「おもてなしの人間力」を活かして、数多くの大規模システムの構築を手掛けた参りました。近年では、社会保険の電子申請クラウドサービス「Charlotte」や、AIを使った漁業システムなどで評価を得ております。

私たちは、新たな輝く未来をお客様、そして社会の皆さんとともに創造していくベストパートナーとして、時代をとらえたサービスをお届けしています。

応援メッセージ

地域とつながる美術館として、久留米の元気が生まれることを期待しております。

株式会社CIG 創新会グループ

CIGは、地域で活躍するアーティストや文化団体の皆様の活動を支援しています。この度、オフィシャルパートナーとして、石橋文化センターと久留米市美術館の活動を支援させていただくこととしました。

この支援を通じて、多くの皆様が多様な文化に触れ、心豊かに、そして笑顔になれるよう、地域社会の発展に貢献してまいります。

表紙イラストレーション 藤村のりこ 油彩、水彩、クレバスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞(洋画)受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー



オフィシャルパートナー



※すべての掲載催事の内容については、8月25日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日(祝日・振替休日は開館)、年末年始

開園時間 9:00～17:00 ※～9/30は19:00まで開園延長、園内は年中無休。

交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨⑩⑪系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分

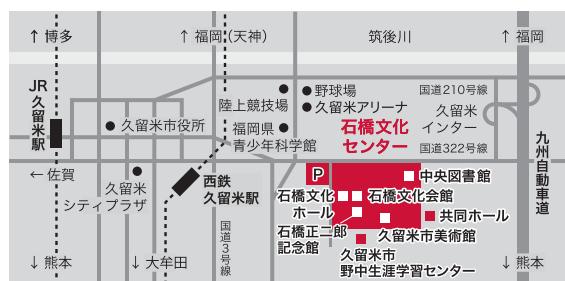
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00～22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。

※ただし30分以内の出庫は無料。

入庫から24時間最大1,000円 ※24時間以降30分ごとに100円増

園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。(要予約)



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
9:00～17:00 月曜休館(祝日は開館)
www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
<https://www.facebook.com/ishibashibunka>